

第5学年1組 道徳科学習指導案

公開授業Ⅰ 場所 1年プレイルーム 指導者 山平 恵太

1 教材名 真の看護を求めて～ナイチンゲール～（A 真理の探究）

本学級の子どもたちは知的好奇心が旺盛で、興味がある話題だと分からないことが分かるようになるまで考えようとするができる。一方、これまでの学習の中で多くの知識を豊かに身に付けてきている反面「早く答えが出せることが優れた学びだ」と思い込んでいる子どもも少なからず見受けられる。これは「本当は何が正しいのか」を考え続ける学びのよさを十分に共有できていないことが背景にあるのではないかと考える。

このような子どもたちが、人間愛に満ち溢れ、倒れゆく人々の原因を探究し続けたナイチンゲールの生き方について話し合うことを通して「本当のことを知りたい」「目の前の人を救いたい」という思いに気付き、なりたい自分を真理の探究との関連から更新してほしいと願う。

そこで本実践では、ナイチンゲールの生き方を自分事として捉えるために、総合的な学習の時間に探究的な学習に取り組むことで、自分が探究した経験からなりたい自分との接点を見いだすことができるようにしていく。その上で、ナイチンゲールが探究し続けることができた理由について話し合うことを通して、探究する上で大切な思いに気付かせていく。そうすることで、これまでの自分をメタ認知し、なりたい自分の姿を拡げたり、なりたい自己を実現するための思いを高めたりすることができるようにする。

2 教材について

- (1) 本教材のねらいは、医療現場の改革を行なったナイチンゲールの生き方を通して真理を探究する態度を大切に、物事の本質を見極めようとする心情を育てることである。

この時期の子どもたちは最高学年を目前に控え、今の自分よりももっとよくなりたいたいという思いをもつ反面、発達段階的な特徴から、やすきに流れて現状に甘える傾向を見せるようになる。これは、現状に満足してしまい「本当のことを明らかにしたい」という強い思いをもち、探究するよさを十分に共有できていないことが背景にあるのではと考える。そこで、「本当のことを明らかにしたい」という強い思いをもつ先人の生き方からなりたい自分を考えたり、「本当のことを明らかにしたい」という思いが生かされた学習経験を積み重ねたりしていく必要がある。

本実践では、まず総合的な学習の時間に全員が探究的な学習の経験を積んでおくことで、先人が探究し続けた思いと重ねて考えることができるようにしていく。次にナイチンゲールが生きた時代背景について理解できるよう、クリミア戦争以前の病院の様子が分かる挿絵や当時の状況を記した資料を提示し、過酷な環境下に置かれてもなお原因を追究し続けていた状況を捉えられるようにしていく。そうすることで子どもたちは、そのような状況に置かれていながら、なぜ途中で断念せずに原因を追究し続けることができたのかという行動に着目していくことだろう。そこで、その行動の原動力となった思いに焦点化した上で課題を設定し「本当のことを知りたい」「目の前の人を救いたい」という思いに気付くことができるよう対話の場をデザインしていく。その際、先人の生き方と自分の経験を重ねて考えることができるよう、なりたい自己ノートに蓄積してきた道徳日記や、探究的な学習の振り返りを想起するよう促していく。その上で、なりたい自己の姿に戻すことにより、今の自分をメタ認知し「なりたい自己になる」心情を育ててほしいと願う。

- (2) 本単元に関する子どもの実態は次の通りである。（調査人数36人）

「日常生活の中で分からないと感じたことを、分かるまで調べ続けたことがある」と答えた子どもは26人であった。その中でほとんどの子どもが「友達や先生、家族に尋ねる」と回答しており、中には「自分が興味のあるものに関しては調べることができるが、興味がないとそこまで調べられない」と答えていた。

一方、分かるまで調べたことがないと答えた理由としては「途中でめんどくさくなってしまう」「途中であきらめてしまう」という理由であった。

3 単元の目標

- (1) ナイチンゲールがいた当時の状況や、真実を明らかにするためのグラフなどの資料を基に、原因を追究した理由について話し合い、過酷な環境下の中、かつ劣悪な医療現場を変えたいという思いがあったことを理解することができる。
- (2) ナイチンゲールが原因を追究した理由について話し合い、真理を探究する上で大切な「本当のことを知りたい」「目の前の人を救いたい」という思いについて考えることができる。
- (3) これまでの自身の探究学習を振り返り、ナイチンゲールが探究し続けた理由や思いについて考えたことを基に、なりたい自分を更新しようとしている。

4 指導計画（1時間取り扱い 総合的な学習の時間8時間、道徳1時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
(1)~(4)	1 探究のテーマを設定し、追究する。	○ これまでの水俣学習を想起させることで、探究のテーマを自ら設定し、追究することができるようにする。 【総合的な学習の時間】	【思・主】探究のテーマに応じて解決の見通しをたて取り組んでいる。(ノート)
事前	2 ナイチンゲールが生きた時代背景の補助資料を読み感想を交流する。	○ ナイチンゲールがいた時代について補助資料を提示することで、教材の理解を一層深め、過酷な環境下で原因を追究していたことを理解できるようにする。 ○ ナイチンゲールの生き方について感じたことを交流することで、感じ方の違いに気づき、先人の生き方に関心をもつことができるようにする。【モジュール】	【知】補助資料を基に先人が生きた時代と今を比較して考える中で、時代背景や当時の状況と先人の生き方とを関連させて理解することができる。(発言・ノート)
1	3 ナイチンゲールが原因を追究し続けることができた理由について話し合い、その思いを基になりたい自分について考える。	○ ナイチンゲールが原因を追究し続けた理由について話し合わせる際、行動につながる思考と感情について問うことで、目の前で亡くなる人を救いたい、真実を明らかにしたいという思いに着目させる。 ○ 探究学習での経験や道徳日記の記述を基に、これまでの自分の学習経験と比較して考えることができるようにすることで、なりたい自分になるため、自分にとって必要なことを考えることができるようにする。 (本時1/1)【道徳】	【思】先人が探究した理由をどんな思いかという視点で考えようとするができる。 (発言・ノート) 【主】先人が探究し続けた理由と自分の学習経験を重ねて考え、なりたい自分を更新しようとしている。 (発言・ノート)
(5)~(8)	4 探究の過程を見直し、発表に向けて準備する。	○ 先人の探究のよさを基に、これまでの探究的な学習について話し合わせることで、今後の活動に生かすことができるようにする。 【総合的な学習の時間】	【主】新たな問いを見だし取り組もうとしている。 (ノート・行動観察)

5 本時の学習

(1) 目標

ナイチンゲールが原因を追究し続けることができた理由について話し合うことを通して、真実を明らかにする上で大切な思いに気づき、物事の真の姿を探究しようとする心情を育てる。

(2) 展開

時間	学習活動	子どもの思い・姿
8	1 振り返りのよさを話し合い、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦争の時は他の人のことまで注意してられないのに、苦しんでいる人のために追究し続けることができるのは確かに私もすごいと思う。 ○ すごいとは思うけど、自分達がそこまでできるかというところ少し難しいかもしれない。
12	2 ナイチンゲールが原因を追究し続けることができた理由について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私が探究していることと比べて考えると、ナイチンゲールは人の命を救うためにしている。 ○ 自分のためではなく、誰かのためという目的があれば探究し続けることができるかな？ ○ 自分が得意な看護の知識だけではなく、グラフを使ってさらに政府に報告していることって改めてすごいと感じた。だって、自分が得意としている看護が無理だったら他に方法がないなって私は諦めてしまうと思うから。 ○ ナイチンゲールは本当のことが知りたい、本当のことが分かっていないことが嫌だったかもしれない。負けず嫌いというか…人が目の前で亡くなっているからかな。
15	3 自分の探究的な学習を振り返り、なりたい自分を再考する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 僕の探究は水俣学習の続きだったんだけど、何となく調べていた気がする。本当のことを知りたいっていう気持ちが足りていなかったと思う。 ○ そう言われると私も同じだな。私はナイチンゲール思いが分からなくて、新渡戸さんの学習を思い出したよ。あの時使った氷山モデルの図で考えてみて、ナイチンゲールの目の前の人をほっとけない気持ちがわかったよ。 ○ ナイチンゲールのように本当のことを知りたいっていう思いは、似ていないかもしれないけど僕はある。でもこの人のように情熱があるかというところそこまではもてていなかったかもしれない。
10	4 振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私になりたい自分は、相手のことを考えることができる自分。ナイチンゲールの目の前の人を救いたいっていう思いはとても共感した。でも、単に救いたいだけでは救えない命があることも分かったから、これからは、なぜを大切にしていって自分になりたいなって思う。 ○ 僕になりたい自分は、優しい自分だったからにはるさんに似ているんだけど、本当のことを知りたいということをもっと大切にしたいと思った。最近、大変だなと感じたらそのままにしていたことが多かったから。



本時ではナイチンゲールが原因を追及し続けた理由について、これまでの探究学習の経験や補助資料の解釈を基に話し合わせることで「本当のことを知りたい」と「目の前の人を救いたい」という二つの思いに気付かせ、なりたいた自分を真理の探究との関連で再考する姿を生みだします。

主体的・対話的で深い学びを生み出す教師の支援（発問・指示・教具・評価）

- ナイチンゲールの生き方について時代背景や今の病院との違いについて捉えることができるよう補助資料を事前に配付し、教科書教材の事前読みをさせておくことでナイチンゲールが生きた当時の様子や状況について理解できるようにしておく。
- これまでのなりたいた自分ノートの記述から、ナイチンゲールの生き方となりたいた自分とを関連させているものを取り上げ、その振り返りのよさを共有することで、なりたいた自分と価値との接点を生みだすことができるようにする。
- ナイチンゲールの生き方から感じたことを表出させた上で、これまでの探究的な学習の経験を想起させたり、自分と比べさせたりした上でナイチンゲールの行動の何がすごいのかを問いかけ、行動につながる思考と感情に焦点化した上で、以下の課題を設定する。

【教材・教具】

- 大型テレビ
- 補助資料
- 挿絵

ナイチンゲールはなぜ原因を追及することに情熱を注ぎ続けることができたのだろう。

- 課題に対して現時点での考えをペアやグループで表出させる。これまでの学びの姿から探究の思いにつながる内容か教材の解釈している内容かを見取り、なりたいた自分の更新につながるよう、再度全体で交流を促すか、新たな他者と出会わせるか等の教師の出を行う。
- 「ナイチンゲールだからできた（自分にはできない）」「本当の思いは分からないけど（ナイチンゲールではないから）」という一面的な見方で停滞する議論をしていた場合は、学びの足跡に戻したり、新たな他者に尋ねるよう促したりすることで、多面的・多角的な捉えにつながるようにする。
- 同じような意見に満足している様子が見られた場合は、目の前で何千人という人が亡くなっていた状況や、看護技術だけではなくグラフを用いて真実を明らかにしようとしたことを確認し、追及する視点に気付かせる。
- 「自分はここまでの情熱はもてていないかもしれない」といったこれまでの探究的な学習の経験や生活経験を基に語る姿を見取り以下のように問い、課題を設定する。

ナイチンゲールの生き方を考えてみて、改めてどんな自分になりたいか。

- これまでの探究的な学習や生活経験の中で疑問をどのように受け止めていたかを想起させることで、ナイチンゲールの思いをなりたいた自分につなげることができるようにしていく。
- なりたいた自分の姿に戻す際に、真実を明らかにするための心構えや、これまでの探究的な学習の経験を想起させることで、メタ認知を働かせることができるようにする。
- 振り返りを書く際、振り返る視点を想起させたり、他者と交流したりして自分の考えを整理させたりするなどして、なりたいた自分を更新することができるようにする。

【評価】

これまでの探究学習等の経験を想起し、真理の探究との関係でなりたいた自分を更新することができる。（ノート・発言）

